

高次救命災害治療センター

診療科目：救急医学、集中治療医学

診療科担当研修責任者名：遠藤 裕（救命センター部長・集中治療部長）
診療科連絡先担当者名：本多 忠幸（救命センター副部長）

連絡先：honda@med.niigata-u.ac.jp

新臨床研修医指導実績：16年度：44人。17年度：42人。18年度：27人。19年度：21人。20年度：24人。21年度：32人。22年度：23人。
23年度：23人。24年度：22人。25年度：26人。26年度：19人。27年度：12人。28年度：14人。29年度：21人。
30年度：24人。

受入期間：1ヶ月以上

同時受け入れ可能数：6人以内

◇◇◇ 学会認定専門医数◇◇◇

救急科専門医 8人、集中治療専門医 4人、麻酔科専門医 4人、総合内科専門医 1人

◇◇◇ 学会認定指導医数◇◇◇

救急医学会指導医 3人、麻酔科指導医 3人

◇◇◇ 学会専門医修練施設としての認定◇◇◇

救急医学会指導医指定施設、救急科専門医指定施設、集中治療専門医研修施設、航空医療学会認定施設、熱傷学会専門医認定施設

診療科の概説・特徴

診療科研修の特徴等

当部門は高次救命災害治療センターとして日本海側初めての高度救命救急センターである。救命救急センター 20床と集中治療部 8床の計28床で運営され、院内の重症患者対応と救急外来での救急車搬送患者（第3次救急患者）を対象に診療を行っている。診療実績として、救急車搬送台数は年間約3,300台以上、救急外来受診患者数は5,500人以上で、増加傾向にある。2012年10月よりドクターヘリ事業を開始し、新潟県全域を視野に入れた救急医療体制を行っている。当センターは、救急科専門医指定施設・指導医指定施設（日本救急医学会）、専門医研修施設（日本集中治療医学会）、認定施設（日本航空医療学会）、専門医認定研修施設（日本熱傷学会）である。

救急部研修では、ドクターヘリ及び救急車で救急外来に搬送される患者の初期対応を行い、チーム医療の一員として研修を行う。対象となる疾患は、心肺機能停止、多発外傷、急性心筋梗塞、急性呼吸不全、敗血症等の重症疾患から環境障害や急性薬物中毒、熱傷と多種に及ぶ。救急科入院となった患者は救命救急センターに入院となり、研修医は、指導医とともに患者を受け持つ。予定入院とは異なり、リアルタイムでトリアージ、診察、診断、治療を行うことで、救急患者に対する対応を学ぶことが出来る。さらに超音波検査、中心静脈穿刺、気管挿管等の手技も上級医・指導医のもとで学べる。また、救急部研修では研修医に当直を行ってもらう。救命救急センターには24時間体制で専従医師が待機しており、夜勤帯においても2名の上級医・指導医が当直している。従って、常に上級医・指導医のもとで研修が行え、的確な指導・アドバイスを受けることができる。午前8時30分に症例検討・回診を行い、問題点を積極的にデスカッションしている。毎週、テーマを決めて抄読会を行っている。

リハビリテーション科

診療科目：リハビリテーション

診療科担当研修責任者名：遠藤 直人（リハビリテーション科 科長）
診療科連絡先担当者名：木村 慎二（リハビリテーション科 病院教授）

連絡先：skimura@med.niigata-u.ac.jp

新臨床研修医指導実績：16年度：0人。17年度：0人。18年度：0人。19年度：1人。20年度：0人。21年度：0人。22年度：1人。
23年度：1人。24年度：2人。25年度：0人。26年度：2人。27年度：1人。28年度：1人。29年度：2人。
30年度：1人。

受入期間：1ヶ月以上

同時受け入れ可能数：1人

◇◇◇ 学会認定専門医数◇◇◇

日本リハビリテーション医学会専門医 4人、日本整形外科学会専門医 3人

◇◇◇ 学会認定指導医数◇◇◇

日本リハビリテーション医学会指導医 2人

◇◇◇ 学会専門医修練施設としての認定◇◇◇

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

診療科の概説・特徴

診療科研修の特徴等

当リハビリテーション（以下、リハ）科は平成28年4月に開設し、実際の外来およびリハ診療は総合リハセンターで行われている。当センターは平成18年1月に、新病棟東館2階に移転し、施設面積は704m²と広く、PT室、OT室がそれぞれ大きな1室になり、ST室は個室3室を備えている。リハスタッフは理学療法士（PT）13名、作業療法士（OT）5名、言語聴覚士（ST）5名、看護師4名、リハ医は6名（専従3名、兼任3名）である。その他にセンター内には摂食嚥下リハ部門（兼任歯科医5名）と呼吸リハ部門（兼任呼吸リハ担当内科医2名）があり、リハ療法の全般を行っている点が特徴である。年間の当センターでのリハ施行延べ人数は約5万3千名であり、その疾患は多岐にわたる。平成18年1月に日本リハ医学会研修施設に認定され、さらに平成26年4月からは、がんリハと心大血管リハも新たに開始している。

前期研修によって、各種疾患のリハビリテーション医療に対応可能で、かつ専門性の高いリハビリテーション診療を習得する目的に本コースでの研修を行う。これらの研修を通して、臨床の場での情報交換と生涯学習ができる体制を構築する。

リハビリテーション医学は Quality of life (QOL) の向上を目指すことが本質である。対象疾患は全ての診療科の疾患であるため、あらゆる疾患の概念、治療法を熟知することはもとより、リハビリテーション医学に特異的な診察、処方を熟知することが必要である。他院では経験することが難しい摂食嚥下リハビリ、呼吸リハビリについてもそれぞれの専門医の指導の下、研修することが可能である。さらには介護保険を含めた社会保障制度、家屋構造・社会福祉制度に関する情報の習得、ハンデキャップをお持ちの患者様への心理的アプローチなどの研修にも適している。